

6. 調査結果（相談支援専門員調査）

（1）相談支援専門員及び相談支援事業所について

調査回答者である相談支援専門員については、男女ほぼ半々で30歳代と40歳代が中心となっており、実務経験年数が長いものと短いものが混在していた。

相談支援専門員以外の資格では社会福祉など福祉系の資格が多くを占め、看護師など医療系の資格は見られなかった。

雇用形態はほとんどが常勤でその中でも専任が多くを占めており、管理者がある程度の割合を占めていた。

担当ケースは40件以上が多く、事業所の種別としては指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業所、指定障害児相談支援事業所と種別ごとにまんべんなく指定を受けている状況にあった。

1つの事業所では概ね常勤2~3名と非常勤1名の相談支援専門員が働いており、主に地方都市に事業所がある状況となっていた。

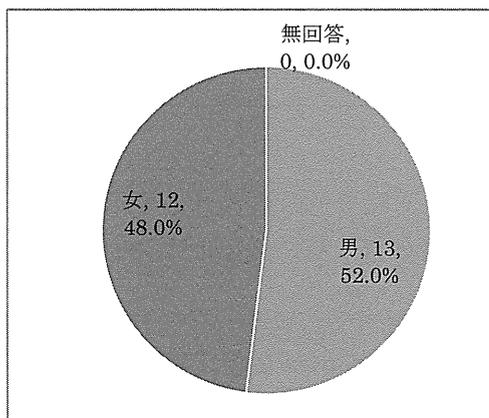
1) 性別

男性が13名（52.0%）、女性が12名（48.0%）であり、男女の割合がほぼ半々となっていた。

表1 性別

	度数	パーセント
男	13	52.0%
女	12	48.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図1 性別



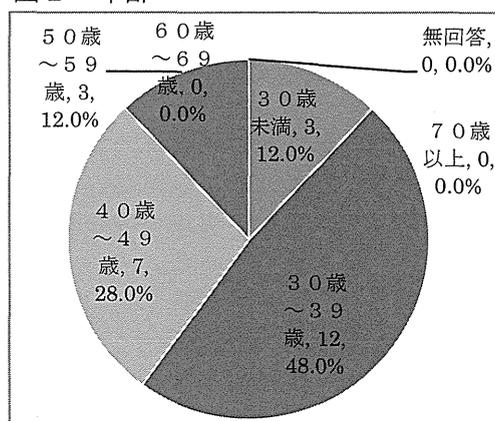
2) 年齢

30歳未満が3名（12.0%）、30歳から39歳が12名（48.0%）、40歳から49歳が7名（28.0%）、50歳から59歳までが3名（11.8%）となっており、30歳代と40歳代が全体の7割以上を占めていた。

表2 年齢

	度数	パーセント
30歳未満	3	12.0%
30歳～39歳	12	48.0%
40歳～49歳	7	28.0%
50歳～59歳	3	12.0%
60歳～69歳	0	0.0%
70歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図2 年齢



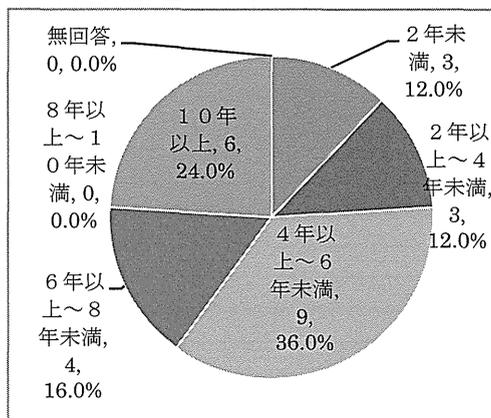
3) 相談支援専門員としての実務経験年数

2年未満が3名(12.0%)、2年以上4年未満が3名(12.0%)、4年以上6年未満が9名(36.0%)、6年以上8年未満が4名(16.0%)、10年以上が6名(24.0%)となっており、4年以上6年未満の割合が最も高くなっていた。

表3 実務経験年数

	度数	パーセント
2年未満	3	12.0%
2年以上～4年未満	3	12.0%
4年以上～6年未満	9	36.0%
6年以上～8年未満	4	16.0%
8年以上～10年未満	0	0.0%
10年以上	6	24.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図3 実務経験年数



4) 初任者研修と現任研修を受講した年

初任者研修では、平成13年が1名、平成14年が1名、平成18年が9名、平成19年が1名、平成20年が2名、平成21年が4名、平成22年が2名、平成23年が3名、平成24年が2名となっており、平成18年の割合が最も高くなっていた。

一方、現任者研修では、平成20年が1名、平成21年が3名、平成22年が2名、平成23年が4名、平成24年が1名、平成25年が5名となっており、平成25年の割合が最も高くなっていた。

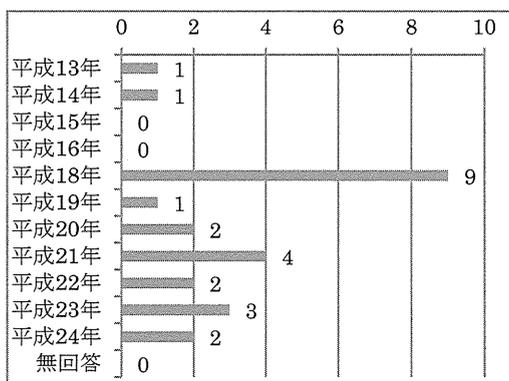
表4 受講した年
(初任者研修)

	度数
平成13年	1
平成14年	1
平成15年	0
平成16年	0
平成18年	9
平成19年	1
平成20年	2
平成21年	4
平成22年	2
平成23年	3
平成24年	2
無回答	0
合計	25

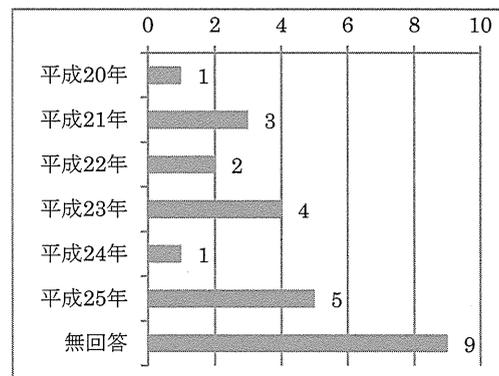
(現任研修)

	度数
平成20年	1
平成21年	3
平成22年	2
平成23年	4
平成24年	1
平成25年	5
無回答	9
合計	25

図4 受講した年
(初任者研修)



(現任研修)



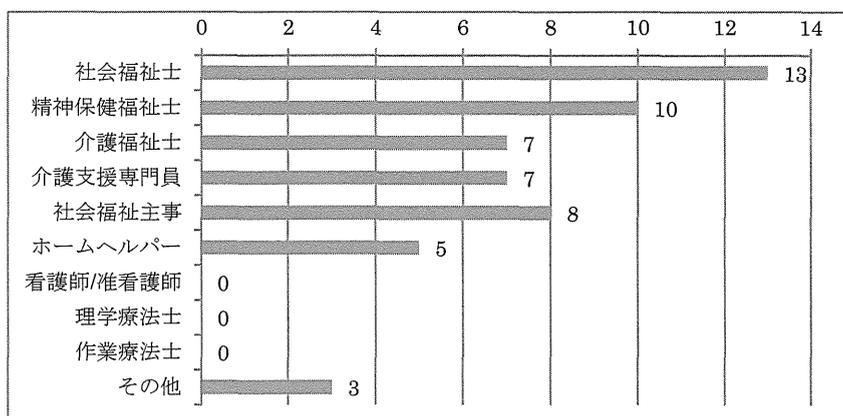
5) 相談支援専門員以外に保有する資格

社会福祉士が13名、精神保健福祉士が10名、介護福祉士が7名、介護支援専門員が7名、社会福祉主事が8名、ホームヘルパーが5名、その他が3名となっており、社会福祉士の割合が最も高くなっていた。

表5 相談支援専門員以外に保有する資格

	度数
社会福祉士	13
精神保健福祉士	10
介護福祉士	7
介護支援専門員	7
社会福祉主事	8
ホームヘルパー	5
看護師/准看護師	0
理学療法士	0
作業療法士	0
その他	3

図5 相談支援専門員以外に保有する資格



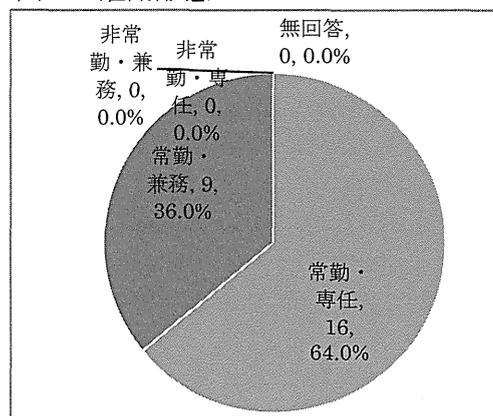
6) 雇用形態

常勤・専任が16名(64.0%)、常勤・兼務が9名(36.0%)となっており、常勤・専任の割合が最も高くなっていた。

表6 雇用形態

	度数	パーセント
常勤・専任	16	64.0%
常勤・兼務	9	36.0%
非常勤・専任	0	0.0%
非常勤・兼務	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図6 雇用形態



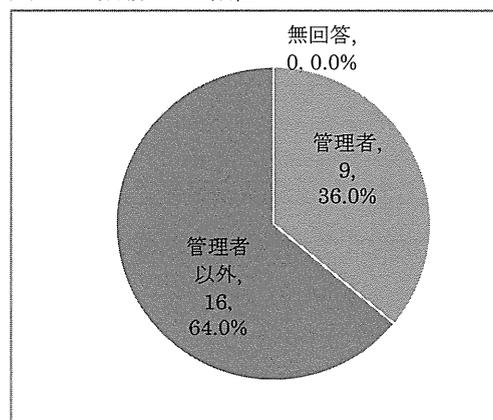
7) 職場での職位

管理者が 9 名 (36.0%)、管理者以外が 16 名 (64.0%) となっており、管理者以外の割合が高くなっていた。

表 7 職場での職位

	度数	パーセント
管理者	9	36.0%
管理者以外	16	64.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図 7 職場での職位



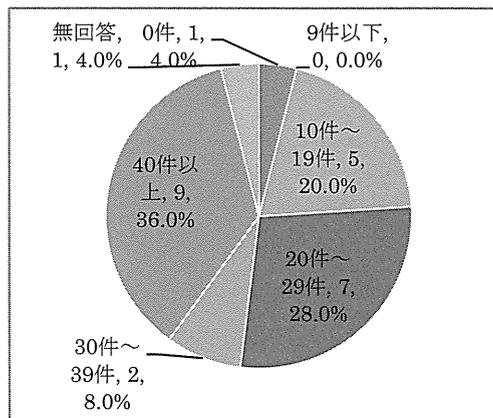
8) 担当保有件数

0 件が 1 名 (4.0%)、10 件から 19 件が 5 名 (20.0%)、20 件から 29 件が 7 名 (28.0%)、30 件から 39 件が 2 名 (8.0%)、40 件以上が 9 名 (36.0%) となっており、40 件以上の割合が最も高くなっていた。

表 8 担当保有件数

	度数	パーセント
0件	1	4.0%
9件以下	0	0.0%
10件~19件	5	20.0%
20件~29件	7	28.0%
30件~39件	2	8.0%
40件以上	9	36.0%
無回答	1	4.0%
合計	25	100.0%

図 8 担当保有件数



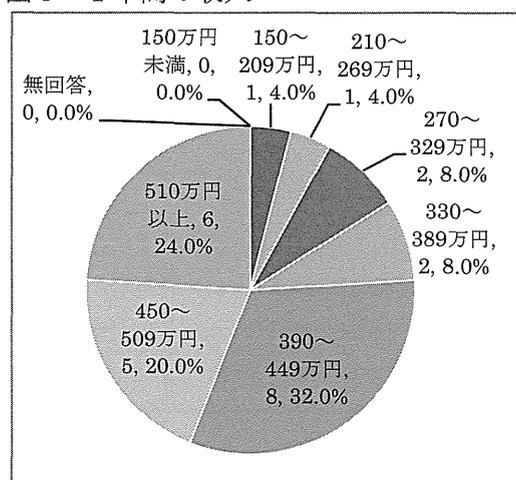
9) 相談支援専門員としての 1 年間の収入

159 万円から 209 万円が 1 名 (4.0%)、210 万円から 269 万円が 1 名 (4.0%)、270 万円から 329 万円が 2 名 (8.0%)、330 万円から 389 万円が 2 名 (8.0%)、390 万円から 449 万円が 8 名 (32.0%)、450 万円から 509 万円が 5 名 (20.0%)、510 万円以上が 6 名 (24.0%) となっており、390 万円から 449 万円の割合が最も高くなっていた。

表 9 1年間の収入

	度数	パーセント
150万円未満	0	0.0%
150～209万円	1	4.0%
210～269万円	1	4.0%
270～329万円	2	8.0%
330～389万円	2	8.0%
390～449万円	8	32.0%
450～509万円	5	20.0%
510万円以上	6	24.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図 9 1年間の収入



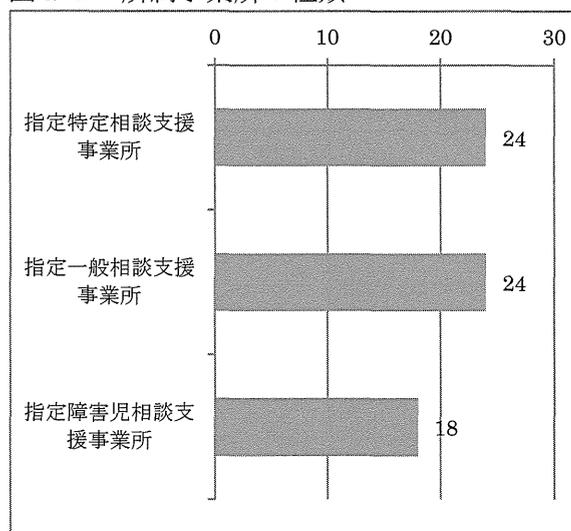
1 0) 所属事業所の種類

指定特定相談支援事業所が 24 名、指定一般相談支援事業所が 24 名、指定障害児相談支援事業所が 18 名となっており、指定特定相談支援事業所と指定一般相談支援事業所の割合が最も高くなっていた（重複あり）。

表 1 0 所属事業所の種類

	度数
指定特定相談支援事業所	24
指定一般相談支援事業所	24
指定障害児相談支援事業所	18

図 1 0 所属事業所の種類



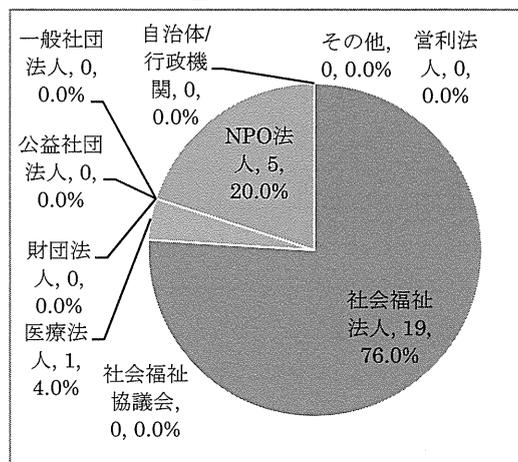
1 1) 所属事業所の法人種別

社会福祉法人が 19 名（76.0%）、医療法人が 1 名（4.0%）、NPO 法人が 5 名（20.0%）となっており、社会福祉法人の割合が最も高くなっていた。

表 1 1 法人種別

	度数	パーセント
社会福祉法人	19	76.0%
社会福祉協議会	0	0.0%
医療法人	1	4.0%
財団法人	0	0.0%
一般社団法人	0	0.0%
公益社団法人	0	0.0%
営利法人	0	0.0%
NPO法人	5	20.0%
自治体/行政機関	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図 1 1 法人種別



1 2) 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

常勤では、1人が5名、2人が6名、3人が6名、4人が5名、5人が3名となっており、2人もしくは3人の割合が最も高くなっていた。

一方、非常勤では、0人が3名、1人が6名、2人が1名となっており、1人の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

(常勤)

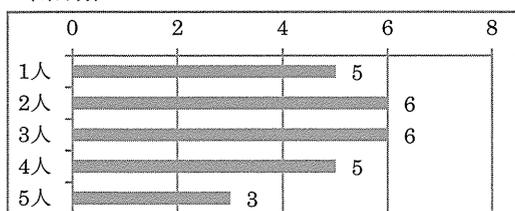
	度数
1人	5
2人	6
3人	6
4人	5
5人	3

(非常勤)

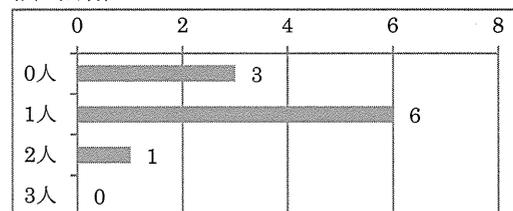
	度数
0人	3
1人	6
2人	1
3人	0

図 1 2 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

(常勤)



(非常勤)



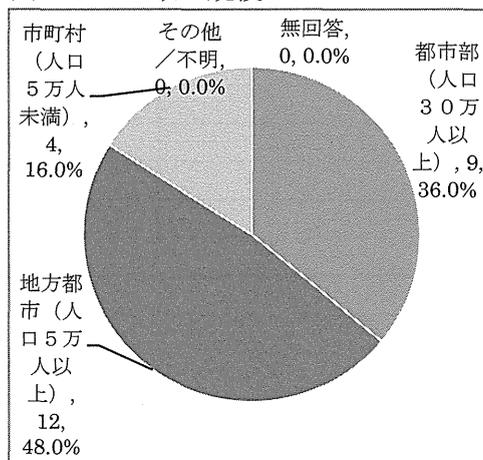
1 3) 所属事業所がある地域の規模

都市部(人口 30 万人以上)が 9 名 (36.0%)、地方都市(人口 5 万人以上)が 12 名 (48.0%)、市町村(人口 5 万人未満)が 4 名 (16.0%) となっており、地方都市の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 地域の規模

	度数	パーセント
都市部(人口30万人以上)	9	36.0%
地方都市(人口5万人以上)	12	48.0%
市町村(人口5万人未満)	4	16.0%
その他/不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

図 1 3 地域の規模



(2) 調査対象となる利用者について

調査対象となる利用者については20歳代から50歳代までが中心となっており、男性で家族同居の割合が高くなっていた。

障害種別は3障害でばらけており、身体障害者手帳は1級、療育手帳は中軽度、精神保健福祉手帳は2級の割合が高くなっていた。

障害程度区分は区分2・3と区分6の割合が高くなっており、相談支援事業利用開始時から見ると現在までの間で大きな変化は見られなかった。

相談支援事業を利用するに至った経路としては来所の割合が高くなっていた。

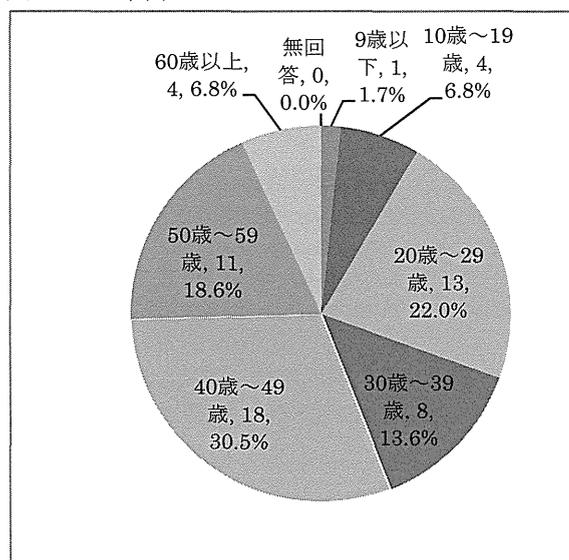
1) 年齢

9歳以下が1名(1.7%)、10歳から19歳が4名(6.8%)、20歳から29歳が13名(22.0%)、30歳から39歳が8名(13.6%)、40歳から49歳が18名(30.5%)、50歳から59歳が11名(18.6%)、60歳以上が4名(6.8%)となっており、20歳代から50歳代までで全体の8割以上を占めていた。

表 1 4 年齢

	度数	パーセント
9歳以下	1	1.7%
10歳~19歳	4	6.8%
20歳~29歳	13	22.0%
30歳~39歳	8	13.6%
40歳~49歳	18	30.5%
50歳~59歳	11	18.6%
60歳以上	4	6.8%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%

図 1 4 年齢



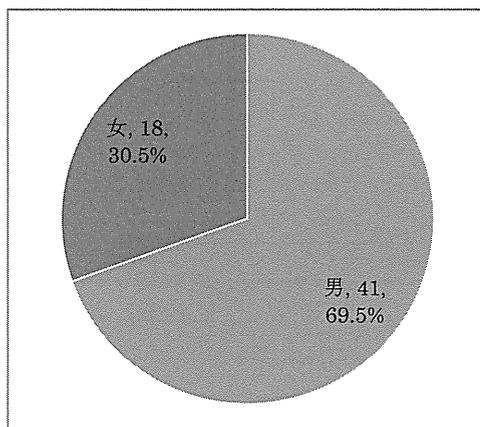
2) 性別

男性が41名(69.5%)、女性が18名(30.5%)であり、2:1の割合で男性が女性よりも多くなっていた。

表15 性別

	度数	パーセント
男	41	69.5%
女	18	30.5%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%

図15 性別



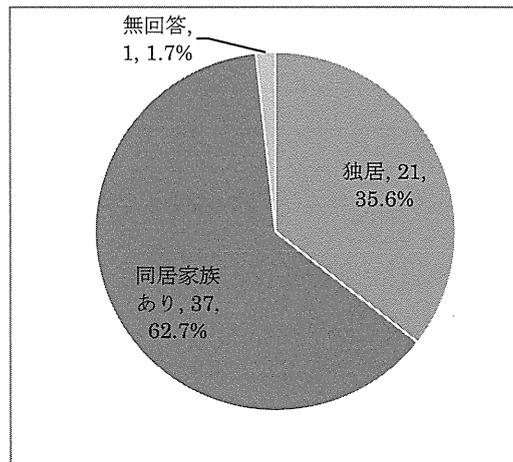
3) 現在の家族状況

独居が21名(35.6%)、同居家族ありが37名(62.7%)であり、2:1の割合で家族同居が独居よりも多くなっていた。

表16 家族状況

	度数	パーセント
独居	21	35.6%
同居家族あり	37	62.7%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図16 家族状況



4) 現在の障害者手帳の種別・等級

身体障害者手帳が17名、療育手帳が32名、精神保健福祉手帳が16名となっていた(重複保持あり)。

また、身体障害者手帳では、1級が10名、2級が2名、3級が1名、5級が2名、6級が2名であり、療育手帳では、軽度が11名、中度が13名、重度が8名であり、精神保健福祉手帳では1級が2名、2級が9名、3級が1名であった。

このように、身体障害者手帳は1級、療育手帳は中軽度、精神保健福祉手帳は2級の割合がそれぞれ高くなっていた。

表 1 7 障害者手帳種別

	度数
身体障害者手帳	17
療育手帳	32
精神保健福祉手帳	16

図 1 7 障害者手帳種別

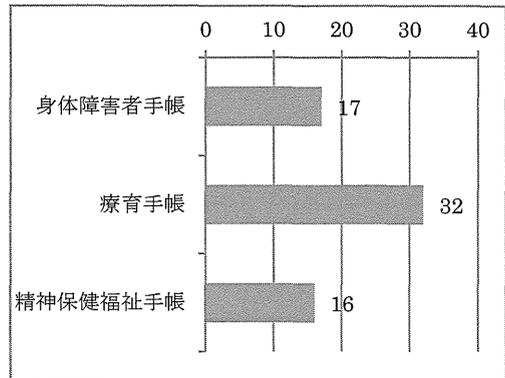


表 1 8 身体障害者手帳

	度数
1級	10
2級	2
3級	1
5級	2
6級	2

図 1 8 身体障害者手帳

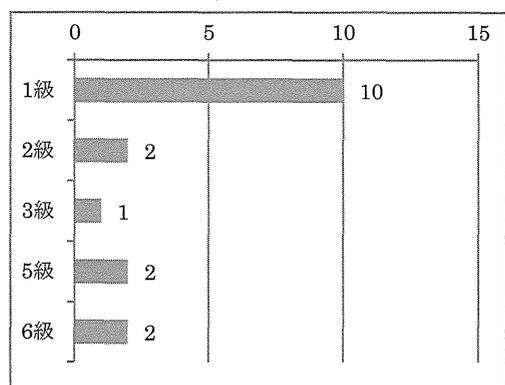


表 1 9 療育手帳

	度数
軽度	11
中度	13
重度	8

図 1 9 療育手帳

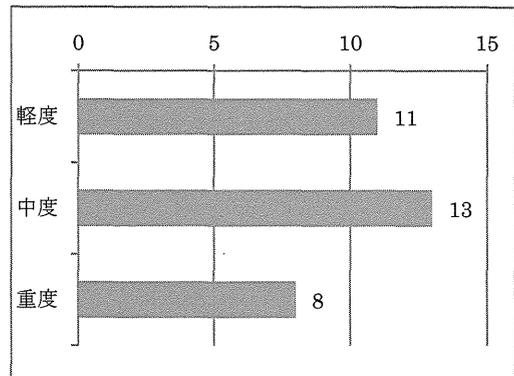
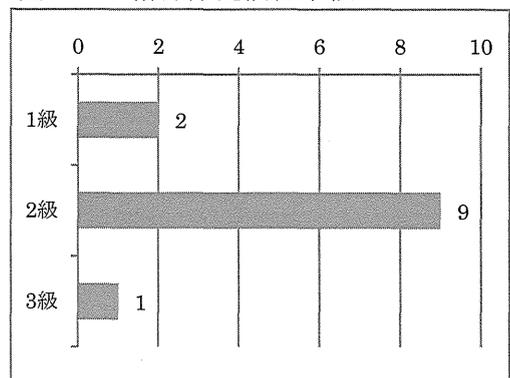


表 2 0 精神保健福祉手帳

	度数
1級	2
2級	9
3級	1

図 2 0 精神保健福祉手帳



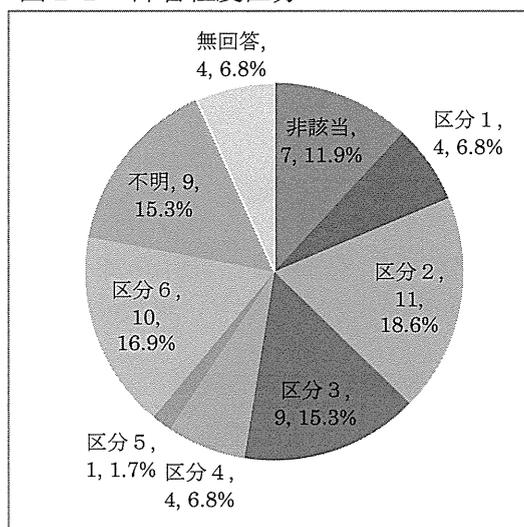
5) 現在の障害程度区分

非該当が7名(11.9%)、区分1が4名(6.8%)、区分2が11名(18.6%)、区分3が9名(15.3%)、区分4が4名(6.8%)、区分5が1名(1.7%)、区分6が10名(16.9%)となっており、区分2・3と区分6の割合が高くなっていた。

表2-1 障害程度区分

	度数	パーセント
非該当	7	11.9%
区分1	4	6.8%
区分2	11	18.6%
区分3	9	15.3%
区分4	4	6.8%
区分5	1	1.7%
区分6	10	16.9%
不明	9	15.3%
無回答	4	6.8%
合計	59	100.0%

図2-1 障害程度区分



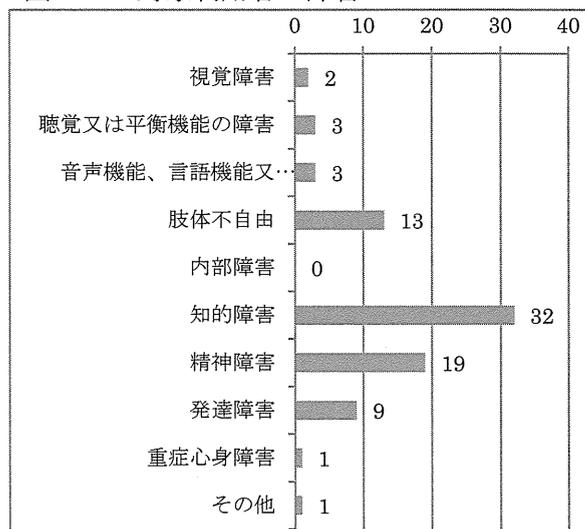
6) 対象利用者の現在の障害について

視覚障害が2名、聴覚または平衡機能の障害が3名、音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害が3名、肢体不自由が13名、知的障害が32名、精神障害が19名、発達障害が9名、重症心身障害が1名、その他が1名となっており、知的障害の割合が高くなっていた(重複あり)。

表2-2 対象利用者の障害

	度数
視覚障害	2
聴覚又は平衡機能の障害	3
音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害	3
肢体不自由	13
内部障害	0
知的障害	32
精神障害	19
発達障害	9
重症心身障害	1
その他	1

図2-2 対象利用者の障害



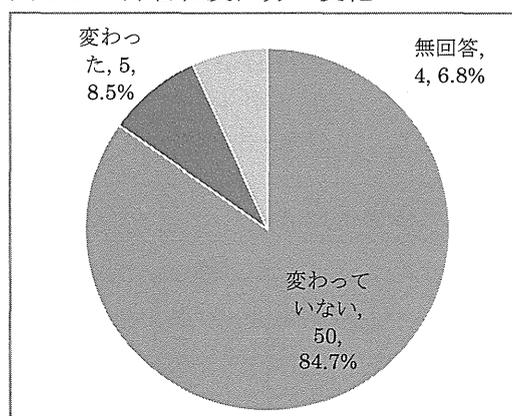
7) 障害程度区分の変化

変わっていないが50名(84.7%)、変わったが5名(8.5%)であり、相談支援事業利用開始時から現在までの間で障害程度区分に大きな変化は見られなかった。

表 2 3 障害程度区分の変化

	度数	パーセント
変わっていない	50	84.7%
変わった	5	8.5%
無回答	4	6.8%
合計	59	100.0%

図 2 3 障害程度区分の変化



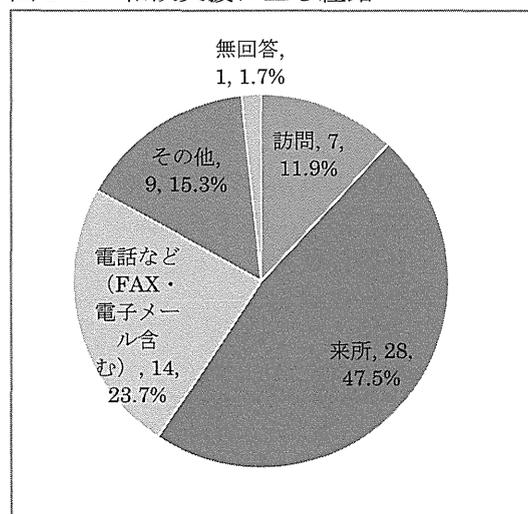
8) 相談支援に至る経路

訪問が 7 名 (11.9%)、来所が 28 名 (47.5%)、電話などが 14 名 (23.7%)、その他が 9 名 (15.3%) となっており、来所による割合が高くなっていた。

表 2 4 相談支援に至る経路

	度数	パーセント
訪問	7	11.9%
来所	28	47.5%
電話など(FAX・電子メール含む)	14	23.7%
その他	9	15.3%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 2 4 相談支援に至る経路



(3) 現在の利用者の状態について

ADL、移動については自立している、心理・精神面、周囲との関係面、健康管理、についてはある程度自立している、経済生活経済環境、全体の生活から見た自立度についてはやや自立しているとされる傾向にあった。

そのような状況の中で、利用者自身が大切にしていると思われる項目として、心理・精神面や周囲との関係面が多く挙げられる傾向にあった。

また、ケアマネジメントについて、利用者信頼関係を築き、各種調整を行い、連携して支援を行うことにより、利用者の心理・精神面や周囲との関係面にそれなりに影響を及ぼすと評価される傾向にあった。

そしてそれらのことを踏まえた上で、利用者には地域で暮らす力があり、施設入所は考えられていないとされる傾向にあることがわかった。

1) ADL

ADLについて、家事以外おおむねひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

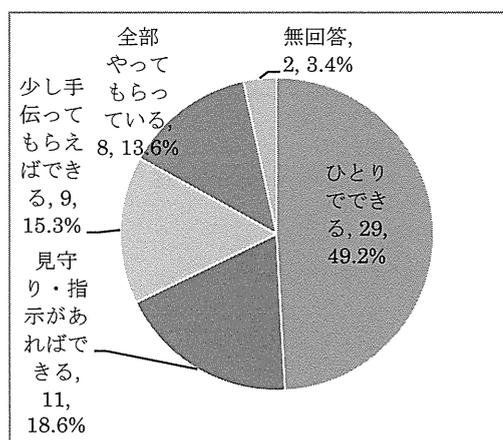
① 身辺処理に関して

ひとりでできるが 29 名 (49.2%)、見守り・指示があればできるが 11 名 (18.6%)、少し手伝ってもらえればできるが 9 名 (15.3%)、全部やってもらっているが 8 名 (13.6%) であった。このように、身辺処理に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 2 5 身辺処理に関して

	度数	パーセント
ひとりでできる	29	49.2%
見守り・指示があればできる	11	18.6%
少し手伝ってもらえればできる	9	15.3%
全部やってもらっている	8	13.6%
無回答	2	3.4%
合計	59	100.0%

図 2 5 身辺処理に関して



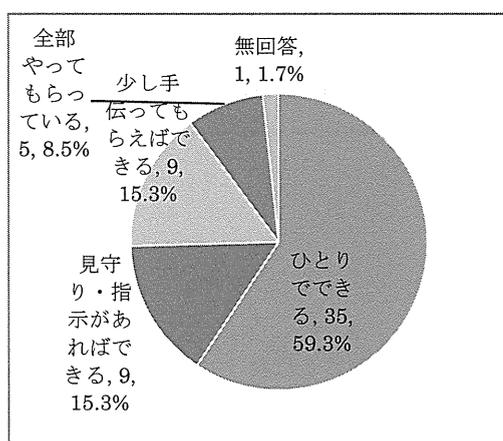
② 食事に関して

ひとりでできるが 35 名 (59.3%)、見守り・指示があればできるが 9 名 (15.3%)、少し手伝ってもらえればできるが 9 名 (15.3%)、全部やってもらっているが 5 名 (8.5%) であった。このように、食事に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 2 6 食事に関して

	度数	パーセント
ひとりでできる	35	59.3%
見守り・指示があればできる	9	15.3%
少し手伝ってもらえればできる	9	15.3%
全部やってもらっている	5	8.5%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 2 6 食事に関して



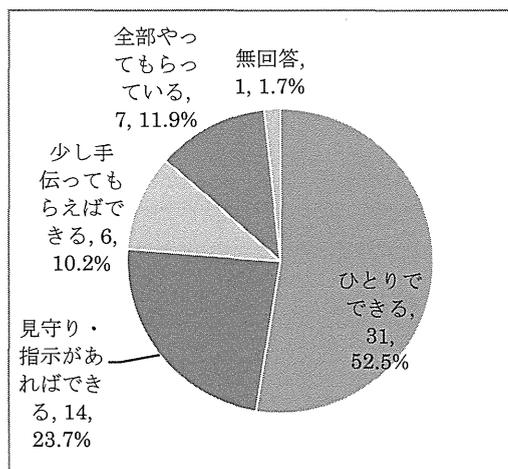
③ 入浴に関して

ひとりでできるが 31 名 (52.5%)、見守り・指示があればできるが 14 名 (23.7%)、少し手伝ってもらえばできるが 6 名 (10.2%)、全部やってもらっているが 5 名 (8.5%) であった。このように、入浴に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 2 7 入浴に関して

	度数	パーセント
ひとりでできる	31	52.5%
見守り・指示があればできる	14	23.7%
少し手伝ってもらえばできる	6	10.2%
全部やってもらっている	7	11.9%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 2 7 入浴に関して



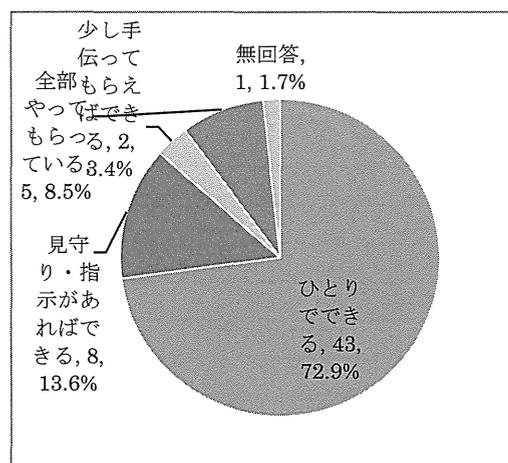
④ 排泄に関して

ひとりでできるが 43 名 (72.9%)、見守り・指示があればできるが 8 名 (13.6%)、少し手伝ってもらえばできるが 2 名 (3.4%)、全部やってもらっているが 5 名 (8.5%) であった。このように、排泄に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 2 8 排泄に関して

	度数	パーセント
ひとりでできる	43	72.9%
見守り・指示があればできる	8	13.6%
少し手伝ってもらえばできる	2	3.4%
全部やってもらっている	5	8.5%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 2 8 排泄に関して



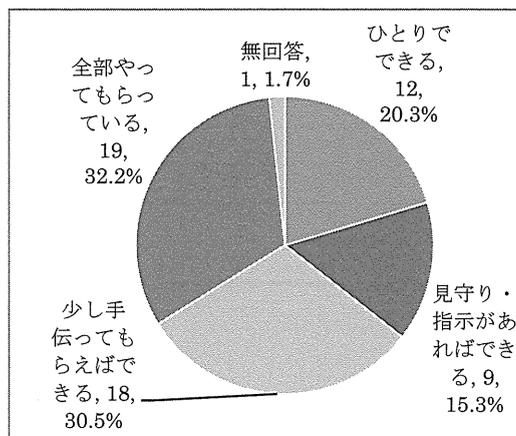
⑤ 家事に関して

ひとりでできるが 12 名 (20.3%)、見守り・指示があればできるが 9 名 (15.3%)、少し手伝ってもらえばできるが 18 名 (30.5%)、全部やってもらっているが 19 名 (32.2%) であった。このように、家事に関して全部やってもらっているとされる傾向にあることがわかった。

表 2 9 家事に関して

	度数	パーセント
ひとりでできる	12	20.3%
見守り・指示があればできる	9	15.3%
少し手伝ってもらえばできる	18	30.5%
全部やってもらっている	19	32.2%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 2 9 家事に関して



2) 心理・精神面

心理・精神面について、やや安定しているとされる傾向にあることがわかった。

① 生きがい・希望・好きなこと

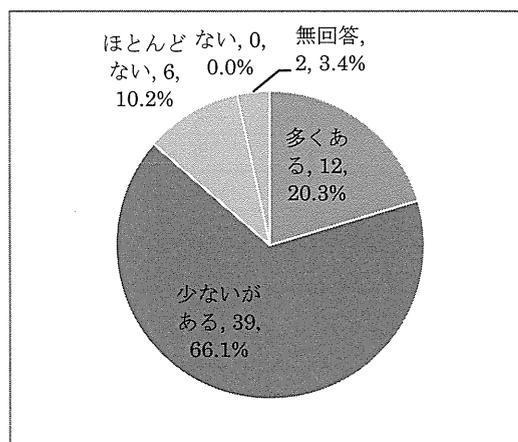
多くあるが 12 名 (20.3%)、少ないがあるが 39 名 (66.1%)、ほとんどないが 6 名 (10.2%) であった。

このように、生きがい・希望・好きなことに関して少ないがあるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 0 生きがい・希望・好きなこと

	度数	パーセント
多くある	12	20.3%
少ないがある	39	66.1%
ほとんどない	6	10.2%
ない	0	0.0%
無回答	2	3.4%
合計	59	100.0%

図 3 0 生きがい・希望・好きなこと



② 精神面の安定

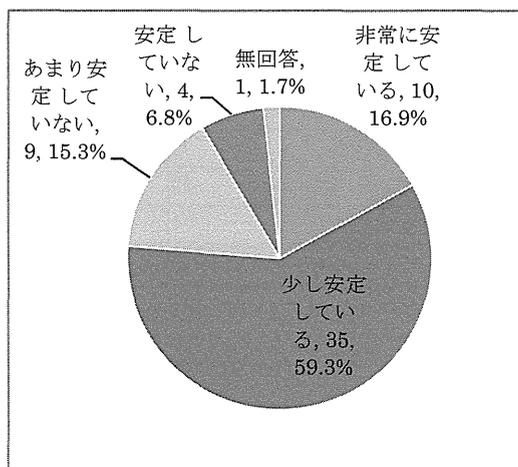
非常に安定しているが 8 名 (10.1%)、少し安定しているが 55 名 (69.6%)、あまり安定していないが 13 名 (16.5%)、安定していないが 1 名 (1.3%) であった。

このように、精神面の安定に関して少し安定しているとされる傾向にあることがわかった。

表 3 1 精神面の安定

	度数	パーセント
非常に安定している	10	16.9%
少し安定している	35	59.3%
あまり安定していない	9	15.3%
安定していない	4	6.8%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 1 精神面の安定



3) 周囲との関係面

周囲との関係面について、家族関係以外少ないがあるとされる傾向にあることがわかった。

① 日中活動での人間関係

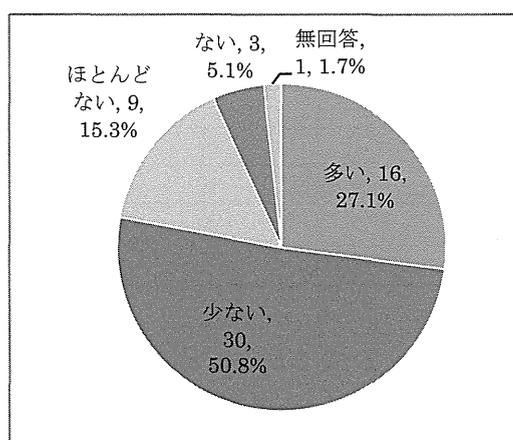
多いが 16 名 (27.1%)、少ないが 30 名 (50.8%)、ほとんどないが 9 名 (15.3%)、ないが 3 名 (5.1%) であった。

このように、日中活動での人間関係に関して少ないとされる傾向にあることがわかった。

表 3 2 日中活動の人間関係

	度数	パーセント
多い	16	27.1%
少ない	30	50.8%
ほとんどない	9	15.3%
ない	3	5.1%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 2 日中活動の人間関係



② 支援する人の存在

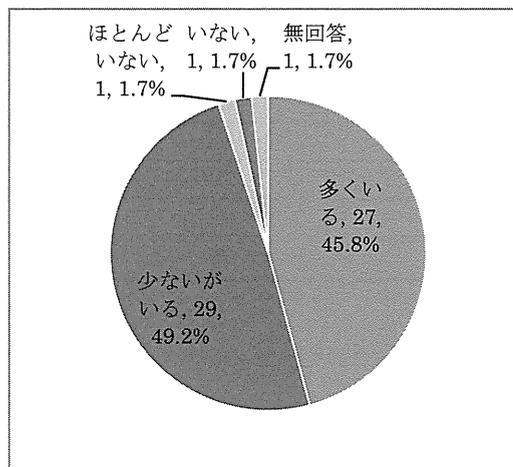
多くいるが 35 名 (44.3%)、少ないがいるが 38 名 (43.1%)、ほとんどいないが 4 名 (5.1%) であった。

このように、支援する人の存在に関して少ないがいるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 3 支援する人の存在

	度数	パーセント
多くいる	27	45.8%
少ないがいる	29	49.2%
ほとんどいない	1	1.7%
いない	1	1.7%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 3 支援する人の存在



③ 家族関係

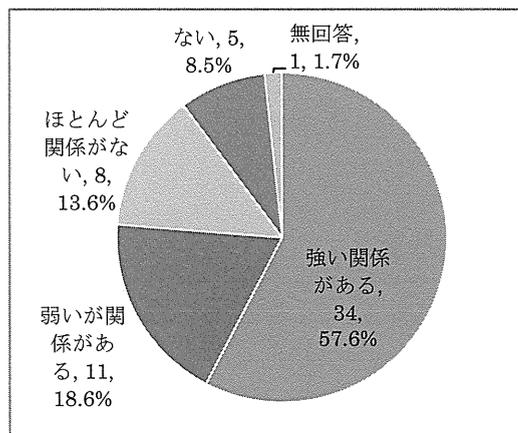
強い関係があるが 34 名 (57.6%)、弱いがある関係があるが 11 名 (18.6%)、ほとんど関係がないが 8 名 (13.6%)、ないが 5 名 (8.5%) であった。

このように、家族関係に関して強い関係があるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 4 家族関係

	度数	パーセント
強い関係がある	34	57.6%
弱いがある関係がある	11	18.6%
ほとんど関係がない	8	13.6%
ない	5	8.5%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 4 家族関係



4) 健康管理

健康管理について、見守り・指示があればできるとされる傾向にあることがわかった。

① 健康管理

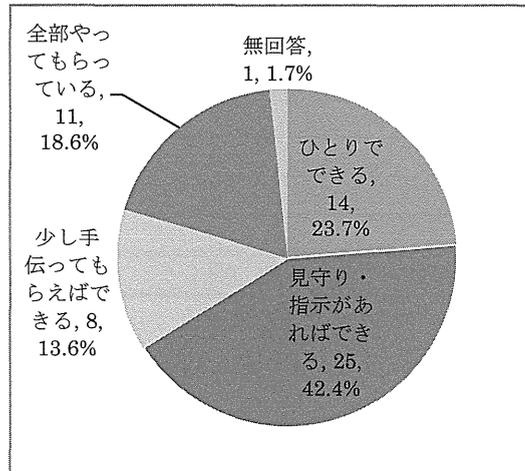
ひとりでできるが 14 名 (23.7%)、見守り・指示があればできるが 25 名 (42.4%)、少し手伝ってもらえればできるが 8 名 (13.6%)、全部やってもらっているが 11 名 (18.6%) であった。

このように、健康管理に関して見守り・指示があればできるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 5 健康管理

	度数	パーセント
ひとりできる	14	23.7%
見守り・指示があればできる	25	42.4%
少し手伝ってもらえればできる	8	13.6%
全部やってもらっている	11	18.6%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 5 健康管理



5) 経済生活・経済環境

経済生活・経済環境について、少し手伝ってもらえればできるとされる傾向にあることがわかった。

① 金銭管理

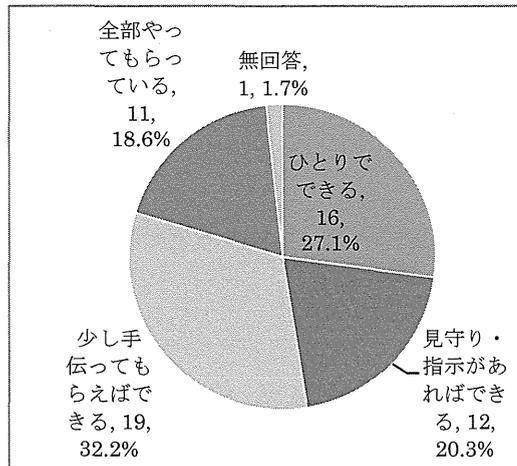
ひとりできるが 15 名 (19.0%)、見守り・指示があればできるが 29 名 (36.7%)、少し手伝ってもらえればできるが 21 名 (26.6%)、全部やってもらっているが 12 名 (15.2%) であった。

このように、金銭管理に関して少し手伝ってもらえればできるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 6 金銭管理

	度数	パーセント
ひとりできる	16	27.1%
見守り・指示があればできる	12	20.3%
少し手伝ってもらえればできる	19	32.2%
全部やってもらっている	11	18.6%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 6 金銭管理



6) 移動

移動について、ひとりできるとされる傾向にあることがわかった。

① 移動・交通機関の利用

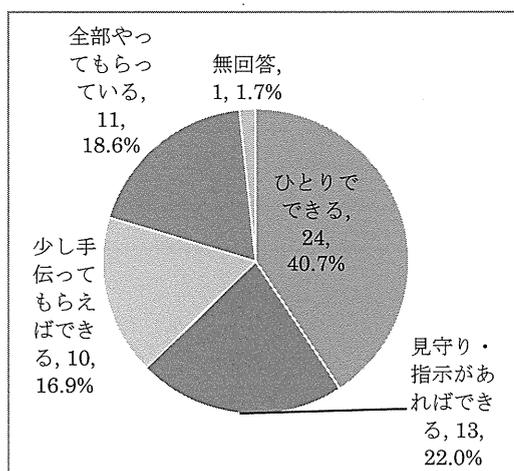
ひとりでできるが 24 名 (40.7%)、見守り・指示があればできるが 13 名 (22.0%)、少し手伝ってもらえればできるが 10 名 (16.9%)、全部やってもらっているが 11 名 (18.6%) であった。

このように、移動・交通機関の利用に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 7 移動・交通機関の利用

	度数	パーセント
ひとりでできる	24	40.7%
見守り・指示があればできる	13	22.0%
少し手伝ってもらえればできる	10	16.9%
全部やってもらっている	11	18.6%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 7 移動・交通機関の利用



② 住宅内の移動

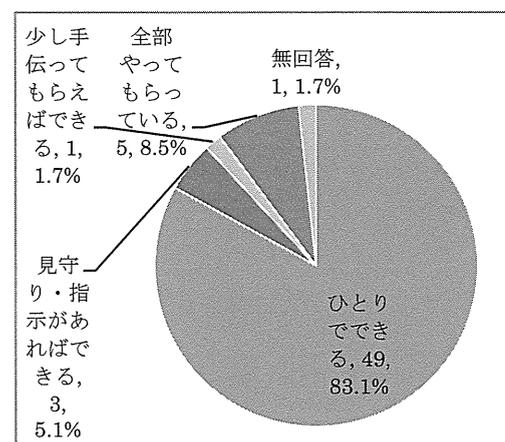
ひとりでできるが 49 名 (83.1%)、見守り・指示があればできるが 3 名 (5.1%)、少し手伝ってもらえればできるが 1 名 (1.7%)、全部やってもらっているが 5 名 (8.5%) であった。

このように、住宅内の移動に関してひとりでできるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 8 住宅内の移動

	度数	パーセント
ひとりでできる	49	83.1%
見守り・指示があればできる	3	5.1%
少し手伝ってもらえればできる	1	1.7%
全部やってもらっている	5	8.5%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 8 住宅内の移動



7) 全体の生活から見た自立度

全体の生活から見た自立度について、少し手伝ってもらえればできるとされる傾向にあることがわかった。

① 自立した生活

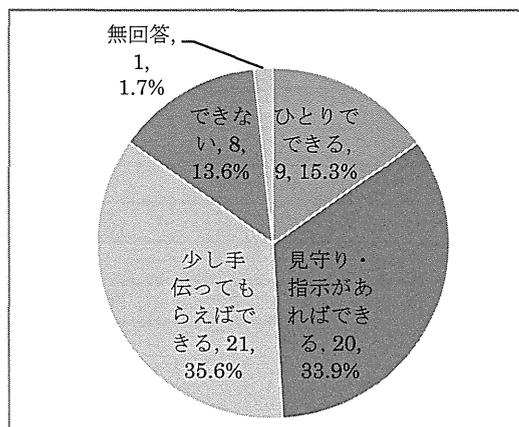
ひとりでできるが 9 名 (15.3%)、見守り・指示があればできるが 20 名 (33.9%)、少し手伝ってもらえればできるが 21 名 (35.6%)、できないが 8 名 (13.6%) であった。

このように、自立した生活に関して少し手伝ってもらえればできるとされる傾向にあることがわかった。

表 3 9 自立した生活

	度数	パーセント
ひとりでできる	9	15.3%
見守り・指示があればできる	20	33.9%
少し手伝ってもらえればできる	21	35.6%
できない	8	13.6%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

図 3 9 自立した生活



(4) 対象利用者が大切にしていると思われる項目

対象利用者が大切にしていると思われる項目について、心理・精神面と周囲との関係面で平均点が高い傾向にあることがわかった。

表 4 0 対象利用者が大切にしていると思われる項目

	平均点
(1)ADL	2.66
(2)心理・精神面	4.48
(3)周囲との関係	4.43
(4)健康管理	3.90
(5)金銭管理	3.36
(6)移動・交通・住宅環境	2.17

※ 1 位を 6 ポイント、2 位を 5 ポイント、3 位を 4 ポイント、4 位を 3 ポイント、5 位を 2 ポイント、6 位を 1 ポイントにした平均値